

御殿場遊園地ベビーゴルフ場

飯田 良樹

隆盛を極めていたゴルフ場も、今や倒産したり合併吸収されて数少なくなってきました。

ゴルフ場も生き残りを図り、全盛期を知っている私が平日料金を聞くとびっくりしてしまう料金設定になっています。でも、有難く日々ラウンドをさせていただいています。

ゴルフ場の日本における歴史を少し

日本最古のゴルフ場は神戸ゴルフ倶楽部で、1903（明治36）年5月24日にイギリス人貿易商A.H.グルームによって神戸市の六甲山上に造られました。

三重県は、遅れること56年後の1959（昭和34）年に四日市カントリー倶楽部が作られ、桑名カントリー倶楽部、三重カントリークラブ、嬉野カントリークラブ、伊賀ゴルフコース、名張カントリークラブ、伊勢カントリークラブ、榊原ゴルフ倶楽部と1966（昭和41）年までに名門ゴルフ場が作られました。ゴルフをされる皆さんには懐かしいゴルフ場と思います。

今回は広い敷地のいらない老若男女が楽しめているパターゴルフについて書きたいと思います。ドライバーやアイアンクラブを使わないで、パターのみで転がして競い合うので、我が町の温泉施設の横にも作られています。

古書店を巡っていた時に**御殿場遊園地ベビーゴルフ場**と書かれたチラシが目にとまりました。御殿場海岸にベビーゴルフ場と思い手に取ると、1929（昭和4）年に阿漕浦土地建物株式会社により御殿場遊園地が完成して、その中の施設として作られたとの事でした。

そう言えば、以前に入手した「伊勢阿漕浦 御殿場遊園地」の絵葉書があったなと思い、取り出しましたが、パターゴルフ場の写真はありませんでした。



飛行塔や貸別荘などの5枚の写真が入っているのみですが、あの御殿場海岸に飛行塔もあったんだと改めて認識いたしました。

古書店の別の箱には、ベビーゴルフ場のアングルの違う写真もありました。チラシでは和服姿の女性がパターを持ってラウンドしています。後ろのコースには15番パー3の表示もみられます。両者を合わせて考えると、コースはS字カーブやスロープの上がり降り、輪の中を回るなどのバリエーションがあり、ホールインワンがなかなか出来ない林間コースが作られていたことわかりました。





もっと何かないかなと箱を探してみると御殿場遊園地小動物園と書かれた写真も見つかりました。



動物や鳥が円形の金網に入れられているのか、子供達が見入っています。



飛行塔の写真を大きくすると、左右下に飛行機

の形らしき物がワイヤーで吊り下げられていて、人を乗せて回転させた事がわかります。

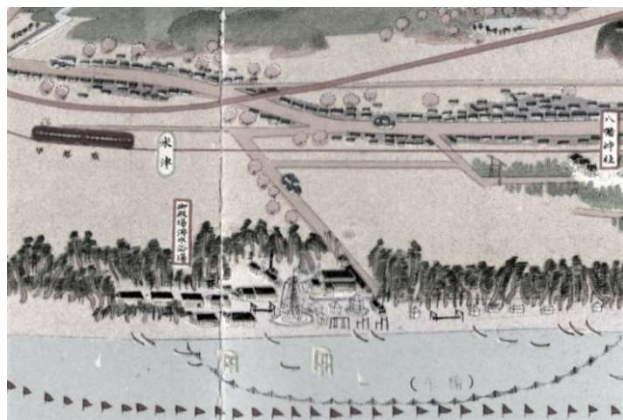
話をベビーゴルフ場にもどすと、チラシには「静から動へ、動からスピードの時代に現代人の神経はよりスピーデーなビジネスの爲に、「あーつかれた」と頭をやすめるオアシスがなかなか見つかりません。そんな時淡い實能のつかれを休めるための一寸した軽い「スポーツ」をやってみたくという欲望は必然的におこってくるのも当然です。ベビーゴルフ！世の先端人の誰もが口にする最も新しい遊戯です。……天然の風致と殊に姿面白き磯馴松と土地の高低を巧に利用した理想的なゴルフ場をお開設した次第です。」と現代でも通用する文章が綴られています。

料金は昭和初期をおもわせる、大人1回50銭、婦人・学生・子供1回10銭となっています。

営業時間は午前8時から午後10時(但し夏季以外は夜間休み)となっており、ナイター設備がついていたのかなと思わせる文面です。

まだ三重県にはゴルフ場が出来ていない昭和初期に、津市の海岸沿いに御殿場遊園地が出来、飛行塔やベビーゴルフ場があったとは驚きでした。

前回載せていただいた「津偕楽公園内の社交倶楽部」とともに、三重県は思っていた以上に近代化が進んでいたのだなど、コロナ禍に収取した資料を見て思うこの頃です。



昭和5年 吉田初三郎「津市」から